

## 経済学研究科 現代経済システム専攻 博士前期課程

### 【教育研究上の目的】

現代経済システム専攻は、わが国と地域社会発展への貢献をはかるため、地域の大学・研究機関と研究交流を深めて優位を確保し、国際競争力を備えた影響力ある高等教育機関として、情報化・複雑化が進む現代産業社会システム解明の総合的学問・研究体系を活用し、専門的視点をもって社会で活躍できる高度な分析力と判断力に富む専門職業人・研究者の育成を目的とする。

### 【教育目標】

大きい様々な課題に直面している日本経済のなかにあつて長期の経済不況に悩まされてきた日本経済の将来を、専門的視点をもってしっかりと担うことのできる人材養成を目指して、現代経済システム、情報処理、社会経済および経済理論についての高度な学識を修得することによって、総合的な分析能力・企画能力・実務能力を兼ね備えた人材を育成することを目標にしています。

### 【ディプロマ・ポリシー】

経済学研究科、現代経済システム専攻では、カリキュラムに則つて所定の単位を取得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文（または博士論文）の審査を受け、それに合格した者に修士（経済学）または博士（経済学）の学位を授与します。

1. 現代の社会、経済の問題について、多角的な視点で論理的に考察をおこなうことができる。
2. 専門的で総合的な分析力、企画力、実務能力を身につけている。
3. 現代経済システム、情報処理、社会経済および経済理論についての高度な学識を身につけている。
4. 専門分野において明確な研究テーマについて、先行研究を詳細に考察し、資料・データを適正に分析して高度で独創的な研究論文を作成することができる。

### 【カリキュラム・ポリシー】

経済学研究科では、教育理念に基づき、カリキュラムを編成します。現代経済システム専攻では、現代経済システム、情報処理、社会経済および経済理論についての高度な学識を修得することによって、総合的な分析能力・企画能力・実務能力を兼ね備えた人材を育成するという教育目標に基づき、以下のような教育課程を編成・実施します。

1. 現代経済システム、情報処理、社会経済および経済理論についての高度な学識を身につけることができるよう体系的な科目を提供する。
2. 1年次に演習Ⅰ、2年次に演習Ⅱを設定し、各専門分野において明確な研究テーマについて、先行研究を詳細に考察し、資料・データを適正に分析して高度で独創的な研究論文を作成することができるよう、指導教員が指導をおこなう。
3. 修士論文の作成にあたっては、2年次に中間報告会にて発表をおこない、指導教員とともに様々な分野の教員からも指導がおこなわれる。
4. 完成論文の発表をおこなう論文報告会が実施される。

### 【アドミッション・ポリシー】

急速な構造の変化を起こす現代社会において、日本的観点、関西的観点といった、多角的な観点をもって経済を分析し、問題解決に取り組もうとする意欲ある学生に広く門戸を開いています。大学院生が、日本経済の将来を、専門的視点をもってしっかりと担うことができることを目指して、現代経済システム、情報処理、社会経済および経済理論についての高度な学識を修得し、総合的な分析能力・企画能力・実務能力を身につけることを目指します。

上記の点を踏まえて、本研究科では以下のような方々の入学を希望します。

1. 現代経済システム、情報処理、社会経済および経済理論についてより深く学びたい方。
2. 大学院で、総合的な分析能力・企画能力・実務能力を身につけて、専門的職業でより一層活躍したい方。
3. 学部教育からさらに加えて、経済学を深く学びたい方。
4. 現代の社会、経済の問題について、多角的な視点で論理的に考察することができる力を身につけたい方。